

令和6年度第1回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和6年5月12日（日）

実施場所：穂別町民センター、アースギャラリー、穂別博物館

令和6年度のむかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム、第7期）は、38名の会員の参加が決定し、第1回目の活動がスタートしました。

【5・6年生の部（午前）】

17名の会員児童が参加しました。札幌市を中心に、遠くは東京や京都から参加する会員も含まれています。穂別町民センターで櫻井穂別博物館長の挨拶の後、会員児童、博物館スタッフ、卒業生の中高生を含むボランティアの自己紹介を行いました。その後、西村学芸員から今年度の活動計画、化石採集時の服装、採集した化石の保管の仕方、博物館の活動を紹介しました。



穂別町民センターでのオリエンテーション。櫻井館長挨拶（右）。



中高生のボランティアによる自己紹介の見本（左）。会員児童の自己紹介（右）。



化石レプリカづくり



展示室の見学



収蔵庫の見学。(右) カムイサウルスの骨化石を観察しているところ。



5・6年生会員とスタッフの集合写真

【3・4年生の部（午後）】

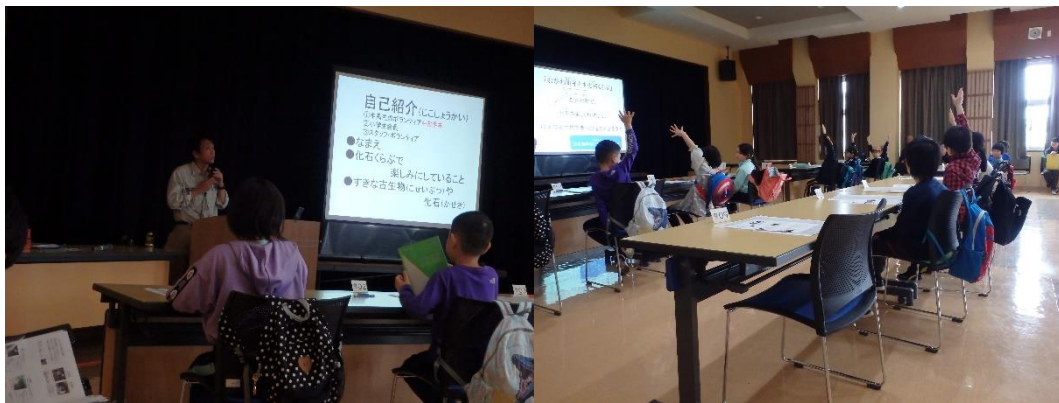
17名の会員児童が参加しました。札幌市や千歳市などから参加がありました。穂別町民センターで櫻井穂別博物館長の挨拶の後、会員児童、博物館スタッフ、卒業生の中高生を含むボランティアの自己紹介を行いました。その後、西村学芸員から今年度の活動計画、化石採集時の服装、採集した化石の保管の仕方を紹介しました。



穂別町民センターでのオリエンテーション。櫻井館長挨拶（右）。



会員児童の自己紹介



学芸員（写真左）による子ども化石クラブの説明

穂別町民センターでのオリエンテーションの後で、博物館と隣接するアースギャラリーへ徒歩で移動しました。会員児童を3年生と4年生に分け、アースギャラリーでの化石レプリカ製作（石こう模型）の製作と博物館の展示案内をそれぞれ行いました。展示案内は中学生のボランティアの方々に行っていただきました。



穂別町民センターからアースギャラリーへの移動



化石レプリカづくり



中学生のボランティアによる展示案内



3・4年生会員とスタッフの集合写真

5月12日の活動では、中高生ボランティア4名、博物館ボランティア3名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘
むかわ町経済恐竜ワールド戦略室 主任 太田晶
むかわ町穂別博物館 主任 干場芽衣